

## いじめ防止強化週間（6月28日～7月3日）の取組

岐阜市では、6月28日～7月3日はいじめ防止強化週間となっています。これは、4年前に岐阜市の中学生がいじめを苦に自らの命を断ったことを通して、岐阜市の中学生が、いじめをなくしていくこと、また、この事件を風化させてはいけないことを真剣に考え行動することが目的です。藍川中学校では、「傍観者にならない」ことを目的とした、いじめ対策監によりいじめ防止の話や授業を行っています。いじめ防止強化週間でも、「傍観者にならない」を軸に、生徒会主体でいじめ防止の取り組みを行いました。

取り組みは「W サポーターとの交流」を行いました。藍川中学校では、4月に生徒自身が担任以外の先生を W サポーター（相談しやすい先生）として選びました。W サポーターとの交流は、大人に相談しやすい環境を作り、いじめ防止に繋がります。

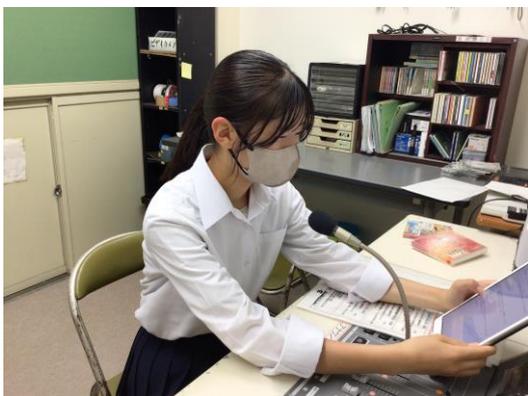
6月28日に生徒会長が全校に向けて、いじめ防止の思いを語ってくれました。（一部抜粋）

もし、相手を傷つけている行為をしたことがある人はもうやめてください。もし、その現場を目撃した人は止めてください。止めたら、次は自分がターゲットになるかもしれないと思うかもしれません。そのいじめを見て嫌な思いをしている同じ気持ちの仲間は必ずいます。少しでも声を出し、仲間を見つけて、いじめの行為を止めたり、先生に情報を伝えたりしてください。いじめを見て見ぬふりをするのではなく、いじめを止める人になってください。いじめで苦しんでいる仲間の声をかけてください。その声はきっとその子の支えになります。

藍川中学校全員が誰も一人にしない学校になってほしいという思いを込めて、藍川中学校の「いじめ撲滅宣言」が作られました。残念ながらいじめをこの世からなくすることはできません。でも、いじめを止めることはできます。いじめを見て見ぬふりをするのではなく、いじめを止めるための行動ができる藍川中学校にしていきましょう。



写真) 自分が選んだ W サポーターのところへ行き、昨日あった出来事や、質問などしている生徒の様子



7月3日の朝活動と朝の会を使って、生徒会副会長が W サポーターの振り返りをしました。

「私の W サポーターは A 先生でしたが、挨拶はもちろん、勉強の話や最近あったことなど、いろいろ手軽に話せてよかったです。こうして話すことで何かあったときの一步を踏み出す勇気が出るのではないかと思います。先生との距離も縮められたと思います。いじめをしないさせない雰囲気を作るには、気軽に話せる人が必要です。しかし、相談するにはとても勇気がいります。だからこそ、自分にとって話しやすい人と日常的に関わっていくことで、誰一人孤立させない、いじめを絶対に許せない学校の実現に繋がっていくと思いました。」

この取り組みを通して、生徒はいじめ防止について考えることができたと思います。いじめは絶対にしてはいけないことです。藍川中学校では、これからも「傍観者にならない」を軸に、誰もが安心して生活することができる学校を子どもと共に作っていきます。